本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

30件の電話番号・デュアルタイム
1/100秒ストップウオッチ・アラーム

# 2417*JA

## 取扱説明書

2417

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

## ⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

## ⚠注意

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

### ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

### データ控えを作ってください

記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。

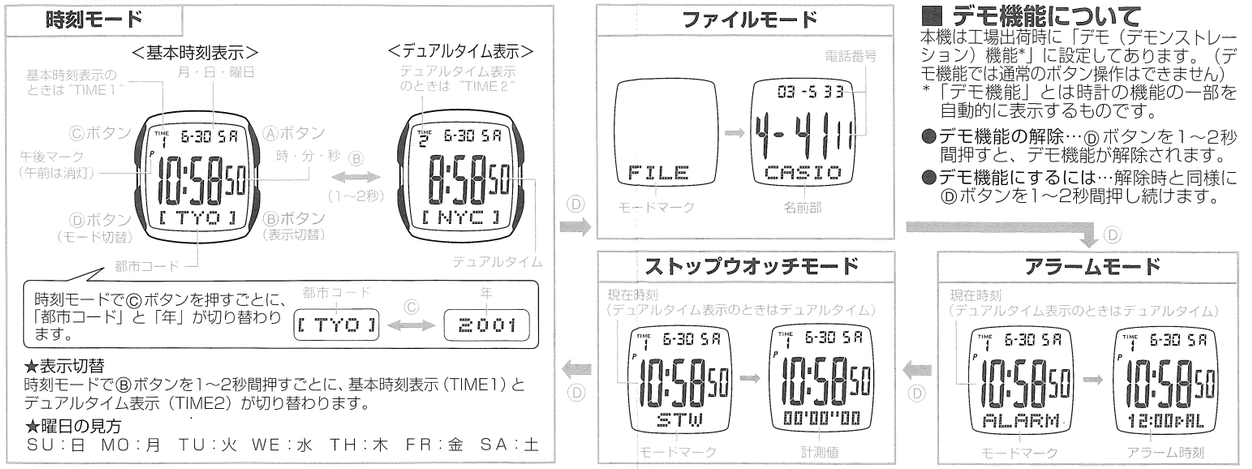
### オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

## 操作のしくみと表示の見方

Ⓓボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※表示は機種により異なる場合があります。




★表示切替
時刻モードでⒷボタンを1～2秒間押すごとに、基本時刻表示（TIME1）とデュアルタイム表示（TIME2）が切り替わります。

★曜日の見方
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

### ■ デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能*」に設定してあります。（デモ機能では通常のボタン操作はできません）
*「デモ機能」とは時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

- デモ機能の解除…Ⓓボタンを1～2秒間押すと、デモ機能が解除されます。
- デモ機能にするには…解除時と同様にⒹボタンを1～2秒間押し続けます。

## 表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

### ■ ボタンを押して発光させる ～手動発光～

Ⓐボタンを押します



➡どのモードのときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。
※オートライトON／OFFにかかわらず、Ⓐボタンを押すと発光します。

### ■ 時計を傾けて発光させる ～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約2秒間発光します。

**準備** どのモードのときでも、Ⓐボタンを約2秒間押すと、"AUTO-EL"が点灯して「オートライトON」になります。

※もう一度Ⓐボタンを約2秒間押すと"AUTO-EL"が消え、「オートライトOFF」になります。




### ●文字板を発光させる




※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<EL発光についての注意事項>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

<オートライトご使用時の注意>

- オートライトが作動するのは、"AUTO-EL"を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に"AUTO-EL"が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓐボタンを約2秒間押して、"AUTO-EL"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。**
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが作動しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

## 製品仕様

| | |
|---|---|
| 水晶発振周波数 | 32,768Hz |
| 精度 | 平均月差±30秒以内 |
| 基本機能 | 時刻表示＝時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示 |
| （ワールドタイム） | カレンダー表示＝月・日・曜日<br>40都市、サマータイム設定機能 |
| ファイル機能 | 名前（8文字）と電話番号（12桁）を最大30件までメモリー<br>自動ソート機能 |
| アラーム機能 | 時刻アラーム　セット単位＝時・分　電子音＝20秒間<br>時報　毎正時に2回電子音で報時 |
| ストップウオッチ機能 | 計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）<br>計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、<br>1・2着同時計測 |
| その他 | 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、<br>EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートEL、<br>モニターアラーム |
| 主要回路素子 | 音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI |
| 使用電池 | CR-1616（電池別途販売） |
| 電池寿命 | 約2年<br>（電子音20秒間／日、ライト2秒間／日使用した場合）<br>●ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。<br>・1日あたり、ライト10秒間使用のとき…約20ヶ月<br>・1日あたり、ライト20秒間使用のとき…約14ヶ月 |

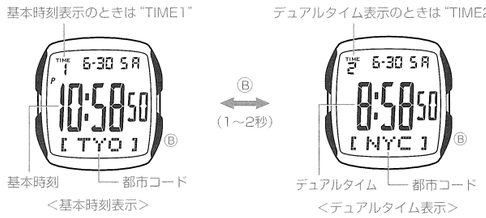
# デュアルタイムについて　以下の操作は時刻モードで行ないます。

本機には基本時刻（TIME 1）とあらかじめ登録されている40都市の中から選べるデュアルタイム（TIME 2）の2つがあり、表示を切り替えて使うことができます。
※ 基本時刻も登録されている40都市の中から選ぶことができます。
※ デュアルタイムの「秒」「年・月・日」は基本時刻の「秒」「年・月・日」に連動して表示されます。
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも24時間制で表示されます。

## ■ デュアルタイム表示にするには

時刻モード<基本時刻表示>のとき、**Ⓑ ボタンを 1 ～ 2 秒間押します**

➡ <デュアルタイム表示>となり、セットされている都市の時刻を表示します。
※ もう一度 Ⓑ ボタンを 1 ～ 2 秒間押すと<基本時刻表示>に戻ります。




## ■ 都市コードのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

(1) **Ⓒ ボタンを 1 ～ 2 秒間押します**
➡「都市コード」が点滅します。

(2) **Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**
➡ Ⓑ または Ⓐ ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。（下記「●都市コード一覧」参照）

(3) **Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます**
※ 点滅表示のまま 1 ～ 2 分すると自動的に点滅が止まります。




## ■ サマータイムのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。
なお、サマータイムは基本時刻もしくはデュアルタイムのそれぞれにセットできます。

(1) **Ⓒボタンを1～2秒間押して「都市コード」が点滅したら、Ⓓボタンを1回押します**
➡ "DST" マークとONまたはOFFが点滅します。

(2) **Ⓑ ボタンを押します**
➡ Ⓑボタンを押すごとにON/OFFが切り替わります。
※ DST ONにするとサマータイム設定*になります。
＊ サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。"DST" はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

(3) **Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます**
※ 点滅表示のまま 1 ～ 2 分すると自動的に点滅が止まります。




### ●都市コード一覧

| 都市コード | 時差 | 都市名 | 都市コード | 時差 | 都市名 |
|---|---|---|---|---|---|
| ADL | +9.5 | アデレード | LON | +0.0 | ロンドン |
| ANC | –9.0 | アンカレジ | MEX | –6.0 | メキシコシティ |
| BER | +1.0 | ベルリン | MIA | –5.0 | マイアミ |
| BKK | +7.0 | バンコク | MIL | +1.0 | ミラノ |
| CAI | +2.0 | カイロ | MLE | +5.0 | マーレ |
| CCS | –4.0 | カラカス | NOU | +11.0 | ヌーメア |
| CHI | –6.0 | シカゴ | NYC | –5.0 | ニューヨーク |
| DAC | +6.0 | ダッカ | PAR | +1.0 | パリ |
| DEL | +5.5 | デリー | PPG | –11.0 | パゴパゴ |
| DEN | –7.0 | デンバー | RGN | +6.5 | ヤンゴン |
| DXB | +4.0 | ドバイ | RIO | –3.0 | リオデジャネイロ |
| GUM | +10.0 | グアム | ROM | +1.0 | ローマ |
| HKG | +8.0 | ホンコン（香港） | SEL | +9.0 | ソウル |
| HNL | –10.0 | ホノルル | SFO | –8.0 | サンフランシスコ |
| IST | +2.0 | イスタンブール | SIN | +8.0 | シンガポール |
| JED | +3.0 | ジッダ | SYD | +10.0 | シドニー |
| JRS | +2.0 | エルサレム | THR | +3.5 | テヘラン |
| KBL | +4.5 | カブール | TYO | +9.0 | 東京 |
| KHI | +5.0 | カラチ | WLG | +12.0 | ウェリントン |
| LAX | –8.0 | ロサンゼルス | YVR | –8.0 | バンクーバー |

※この表は2000年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

## ■ 時刻・カレンダーについて

基本時刻とデュアルタイムは、あらかじめ登録されている都市の時差にしたがい連動しています。
どちらかの時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

## ■ 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) **Ⓒボタンを1～2秒間押して「都市コード」が点滅したら、Ⓓボタンを2回押します**
➡「秒」が点滅します。

(2) **時報に合わせて、Ⓑボタンを押します**
➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス電話117番」が便利です）

(3) **Ⓓ ボタンを押します**
➡ 以後、Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所が「秒➡時➡分➡12/24時間制切替➡年➡月➡日➡…」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(4) **Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**
➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※ Ⓑ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りできます。

(3)～(4)の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。




★ 12/24時間制表示切替のときは、Ⓑ ボタンを押すごとに12時間制表示（12H）と24時間制表示（24H）とが切り替わります。
※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。
※「年」は西暦で1995～2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) **Ⓒ ボタンを押して、点滅を止めます**
※点滅表示のまま 1 ～ 2 分すると自動的に点滅が止まります。

# ストップウオッチの使い方

時刻モードのときにⒹボタンを3回押すと、ストップウオッチモードになります。

ストップウオッチは59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

## ■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

**Ⓑ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします**

※ 計測中に Ⓑ ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度 Ⓑ ボタンを押すとその時点から計測を再開します。（積算計測）
※ 計測中に Ⓒ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（SPLIT 点灯）もう一度 Ⓒ ボタンを押すとスプリットが解除されます。
※ 計測終了後 Ⓒ ボタンを押すと計測値が0に戻ります。




### ●通常計測

Ⓑ スタート → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット

### ●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓑ スタート → Ⓒ スプリット → Ⓒ スプリット解除（スプリット表示） → Ⓑ ストップ → Ⓒ リセット

### ●1・2着同時計測

Ⓑ スタート → Ⓒ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓑ 2着ゴール → Ⓒ 2着タイム表示 → Ⓒ リセット

# ファイル機能の使い方　時刻モードのときに Ⓓ ボタンを 1 回押すと、ファイルモードになります。

ファイル機能は名前8文字と電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。
ファイルモードに切り替えると、前回ファイルモードで最後に見たデータを表示します。また、データを入力すると、名前順に並び替え（**自動ソート***）が行なわれますので、データを探すときもたいへん便利です。
＊**自動ソート**… 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－．／：）です。

## ■ データの呼び出し

**ファイルモードのとき、Ⓑボタンを押します**
➡ Ⓑ ボタンを押すごとに名前順に進みます。
※ 押し続けると早く進みます。




## ■ データを入力（修正）する

(1) ファイルモードのとき、
**Ⓑ ボタンを押して、残りメモリー数（修正ページ）を表示させます**
※ 残りメモリー数表示のときは "REST" と表示されます。
※ 30件すべて入力してあるときは "FULL" と表示されます。このときは不要なデータを消去しておいてください。（「■データを消去する」参照）

(2) **Ⓒ ボタンを 1 ～ 2 秒間押します**
➡ 名前部1桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット
**Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**
➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※ Ⓑ、Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。




(4) 点滅箇所を選ぶ
**Ⓓ ボタンを押します**
➡ Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目～8桁目➡電話番号部1桁目～12桁目➡名前部1桁目…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、Ⓓボタンでセットしたい箇所を選びます。




(3) ～ (4) の操作を繰り返して、データを入力（修正）します。

★ 名前部は最大8文字、電話番号部は最大12桁まで入力できます。
★ 入力できる文字は名前部セットのときは（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（－．／：）で、電話番号部セットのときは－、数字（0～9）、（スペース）です。

(5) **セットが終わりましたら、Ⓒ ボタンを押します**
➡ 点滅が止まり、入力したデータを表示します。
※ 名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※ 続けてデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。
※ 入力したデータは名前順に並び替えられます。
※ ファイルモードのまま2～3分すると自動的に時刻モードに戻ります。

## ■ データを消去する

(1) **Ⓑ ボタンを押して消去したいデータを選びます**

(2) **Ⓒ ボタンを 1 ～ 2 秒間押します**
※ 名前部1桁目が点滅します。

(3) **Ⓐ・Ⓑ ボタンを同時に押します**
※ 確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。

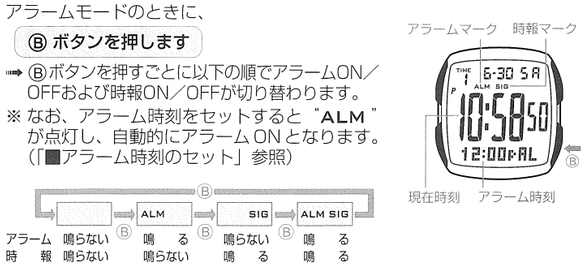
(4) **消去が終わりましたら、Ⓒ ボタンを押します**

# アラームの使い方　時刻モードのときに Ⓓ ボタンを 2 回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

## ■ アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、
**Ⓑ ボタンを押します**
➡ Ⓑボタンを押すごとに以下の順でアラームON／OFFおよび時報ON／OFFが切り替わります。
※ なお、アラーム時刻をセットすると "ALM" が点灯し、自動的にアラームONとなります。（「■アラーム時刻のセット」参照）




## ■ アラーム・時報の報知方法

アラーム・時報は時刻モードで表示させている時刻に合わせて鳴ります。

### ●アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

### ●時報ONのとき

毎正時（00分）になると、"ピッピッ" と電子音が鳴ります。




## ■ 鳴っている電子音を止めるには

アラーム（時報）音を止めるには、ⒶⒷⒸⒹボタンのうち、いずれか1つを押します。

## ■ モニターアラーム

アラームモードのときに Ⓑ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

## ■ アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、
**Ⓒ ボタンを 1 ～ 2 秒間押します**
➡ アラーム時刻の「時」が点滅します。
※ このとき "ALM" が点灯し、アラームONとなります。




(2) セット箇所を選ぶ
**Ⓓ ボタンを押します**
➡ Ⓓ ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。




(3) 点滅箇所のセット
**Ⓑ または Ⓐ ボタンを押します**
➡ Ⓑボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。




※ Ⓑ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。
※「時」のセットのとき、午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4) セット後、点滅を止めるには、
**Ⓒ ボタンを押します**
※ 点滅表示のまま 1 ～ 2 分すると自動的に点滅が止まります。